



平成27年度普仙寺華頂婦人会役員の皆さん平成27年4月8日 月並法要後撮影

## 戦後七十年せんごななじゅうねん

大東亜戦争と呼ばれた戦争が終結して以来七十年が経ちました。  
当時の人々は戦争の渦中にいて多くの苦難を経験されました。  
戦地に赴かれ戦闘に倒れられた方、負傷罹病された方。  
国内において空襲により被災された方。  
日本に限らず世界中が戦場でした。  
多くの人々が苦しみ悲しみました。  
私達はその苦しみ悲しみを学び、記憶し、考察し、二度と戦争が起きないように、何をしなければならぬのか考え、行動していきましょう。

## 住職の短歌

平成26年に詠んだ短歌の続き([前回は平成27年2月号](#))を掲載します。

西宮駅より北の観音寺三宅先生夫妻を招く

作曲のゆかり霊心先生と三宅先生その訳を聞く

震災の見舞い霊心先生は三宅先生家を訪ねる

作曲の三宅先生前にして光明攝取和讃唱える

緑田と麦刈りあとの滋賀平野農道走る自転車の列

薄緑六月末の伊吹山梅雨雲掛かるそれもまたいい

和歌山の湊のお寺永禅寺尊父の通夜の列に加わる

短冊に思いをこめて書きました自分のこともみんなのことも

梅雨空の伊吹の山の深緑天一面の白に負けない

台風の進行予想その土地に住んでる君の今夜はどうか

七月の梅雨雲の中伊吹山緑の色も今は隠れた

窓の外緑田続く滋賀平野二十六年梅雨明けの朝

揺れている赤い花房百日紅僕の心も少し揺れてる

夏夕べ白粉花が咲いている子供時代の楽しい玩具

夏の陽をたっぷり浴びた向日葵を君にあげよう一本二本

玄関に日日草が咲いている今年の夏は何を話そう

花小粒薄い黄色の女郎花庭に見つけて嬉しくなった

秋初め歩道に咲いた玉簾その花言葉汚れなき愛

秋空の二十六年増上寺詠歌唱えて同信となる

この匂い金木犀の贈り物頂きましたと軽く一礼

秋晴れの伊吹の山が美しい澄んだ青空緑の裾野

知恩院六十三回大会は手話の奉納こころ奉納

紅団扇アンスリウムの花の名を間違えていたあの秋の夜

京都では貴船菊の名道端に秋明菊がそっと咲いてる

藤袴薄紫の小花草図書館脇の道に咲いてた

石路のすくと立った花姿淡い黄色が凜としている

少しずつ紅く色づく桜葉が季節の変化感じさせてる

柿の実の色が綺麗だこのあたり中央本線美濃の町々

美濃の国中津川駅高福寺詠唱人と紅葉を歌う

石柱と詠歌の額を指し示す海辺の札所報恩講寺

## 華頂婦人会総連盟研修会

去る4月6・7日、知恩院で開催されました、華頂婦人会総連盟研修会に、普仙寺から6名の方が、参加して頂きました。ありがとうございました。



平成27年4月6・7日総本山知恩院にて華頂婦人会総連盟研修総会に参加された杉本恵子さん、宮本洋子さん、福井富子さん岡田知子さん、林妙子さん、杉浦志げ子さん

## 普仙寺花まつりコンサート～弦楽四重奏と詠唱～ **入場無料**

### 日時

平成27年5月10日(日)午後2時～3時30分

### 会場

普仙寺本堂(豊橋市牟呂中村町6-5)牟呂小学校西となり JR豊橋駅・西口より豊鉄バス(牟呂線)牟呂学校前下車 電話:0532-31-7457

### プログラム

#### <第1部>

ベートーベン  
メンケン  
ゴセック  
モリコーネ

「メヌエット」  
「美女と野獣」  
「ガボット」  
「ニュー・シネマ・パラダイス」

山田 耕祐	「赤とんぼ」
ハイドン弦楽四重奏曲	「鳥」より第1楽章
三宅 勝	「光明攝取和讃」(普仙寺詠唱講・斉唱)
	— 休憩 —
	<第2部>
ビバルディ	ヴァイオリン協奏曲「四季」より「冬」第2楽章
アンダーソン	「ブルータンゴ」
海沼 実	「みかんの花咲く丘」
マスカーニ	「カバレリヤ・ルスティカーナ」
ブラームス	ハンガリヤ舞曲第5番
菅野 よう子	「花は咲く」
松濤 基	「花まつり和讃」(普仙寺詠唱講・斉唱)

## 演奏者

### KON弦楽四重奏団

ヴァイオリン	成勢 方章
ヴァイオリン	成勢 小夜子
ヴィオラ	梶 薫
チェロ	岡野 正

横浜在住のアマチュア四重奏団。演奏ジャンルはクラシック、ポピュラー、唱歌、演歌など幅広い。ヴァイオリンの成勢小夜子は普仙寺住職の従妹。この縁で、普仙寺のコンサートに招待を受ける。詠唱とのコラボレーションを行う。

## 詠唱

斉唱 普仙寺 詠唱講 講員

## 寺行事案内

土曜礼拝 どうらいはい

毎週土曜日午前8時30分～9時

礼拝を含むお勤めです。本家、新家の別なく、どなたでもお参り下さい。

## ◇内容

1. 浄土日常勤行式
2. 法然上人御法語拝読

### 3. 住職の法話

#### ◇法然上人御法語の予定

5月9日からは

- 前編第13章 二行得失
- 前編第14章 専修念仏
- 前編第15章 信行双修
- 前編第16章 他力念仏

#### 月並法要つきなみほうよう

平成27年6月8日(月)午後7時より

月に一度、檀信徒の皆様でお参りする法要です。どなたでもお参り下さい。  
法要中、年回忌の祥月にあたる方のご回向もいたします。

#### ◇内容

1. 浄土日常勤行式
2. 一枚起請文拝読
3. 詠唱奉納
4. 住職の法話